

工 事 設 計 書

所 属 部 課 名	学校教育部学校施設課								
部長	審議監	課長	補佐	補佐	主査	主査	担当	設計者	審査
工 事 名	松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工事								
工 事 場 所	松戸市常盤平七丁目25番地								
事 業 年 度	令和 7 年度								
工 事 価 格	円								
工 事 費 計	円								

設

計

概

要

松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工 一式
防球ネット L=143.0m H=14.7m (全面ネット張り)

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	運動施設工							
		防球ネット設置工		式	1			第 1 号内訳書参照
		処分工		式	1			第 2 号内訳書参照
		附帯工		式	1			第 3 号内訳書参照
		安全費		式	1			第 4 号内訳書参照
	直接工事費計							
		運搬費		式	1			第 5 号内訳書参照
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						
	純工事費							

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		現場管理費		式	1			
	工事原価							
		一般管理費		式	1			
	工事価格							
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
請負工事費計								

第 1 号内訳書 防球ネット設置工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費		式	1			第 1 号単価表参照
施工費		式	1			第 2 号単価表参照
計						

第 2 号内訳書 処分工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
有筋Co処分	既設コンクリート柱、既設基礎 処分費込	式	1			第 3 号単価表参照
鉄くず処分	既設鋼管柱、防球ネット金具類 処分費込	式	1			第 4 号単価表参照
残土処分工	BH0.28積込 2tDT運搬処分 処分費込	式	1			第 5 号単価表参照
ネット処分	防球ネット 処分費込	式	1			第 6 号単価表参照
計						

第 3 号内訳書 附帯工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボーリング調査	3箇所	式	1			
敷鉄板設置撤去工	1.5m×6.0m×40枚	式	1			第 7 号単価表参照
整地工		式	1			第 8 号単価表参照
計						

第 4 号内訳書 安全費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人日	40			第 9 号単価表参照
計						

第 5 号内訳書 運搬費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 往復分	t	64.2			第 10 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費		t	64.2			第 11 号単価表参照
計						

第 1 号 単価表

材料費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H14.7(全面エコネット張り)端 末柱構成	朝日スチール工業(株) S・P-H14.7-3同等品	本	2			第 12 号単価表参照
H14.7(全面エコネット張り)中 間柱構成	朝日スチール工業(株) S・P-H14.7-3同等品	本	13			第 13 号単価表参照
H14.7(全面エコネット張り)横 材構成	朝日スチール工業(株) S・P-H14.7-3同等品 φ139.8*4.5 (10m用) 2本継ぎ	本	2			第 14 号単価表参照
支柱基礎工	φ450×3600 18-8-20BB W/C60%以下 RC-40 t=100	基	15			第 15 号単価表参照
H14.7(全面エコネット張り)ネ ット構成	14700×10000	スパン	14			第 16 号単価表参照
H14.7(全面エコネット張り)ネ ット構成	14700-10000×3000	スパン	1			第 17 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 2 号 単価表

施工費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
既設ネット、支柱撤去工	H=10m W=91m、H=5m W=29.5m、H=3m W=22.9m H10 φ190×12、H5 φ114.3×9、H3 φ76.3×10	式	1			第 18 号単価表参照
埋戻し	発生土利用	m ³	4			第 19 号単価表参照
基礎工	掘削、スパイラルダクト建込	本	15			
支柱およびネット設置工	支柱15本、横材2スパン含 ネットH=14.7m (全面エコネット張り)	式	1			第 20 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 3 号 単価表

有筋Co処分

既設コンクリート柱、既設基礎
処分費込

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
有筋Co殻運搬	DT 2t	m ³	23			第 21 号単価表参照
鉄筋CO処分費	東葛飾	t	23			
計	1 式 当り					

第 4 号 単価表

鉄くず処分

既設鋼管柱、防球ネット金具類
処分費込

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクラップ処理		t	0.84			
収集運搬工		t	0.84			第 22 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 5 号 単価表

残土処分工

BH0.28積込 2tDT運搬処分
処分費込

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込 (ルーズ)	BH0.28m3	m3	9			第 23 号単価表参照
土砂等運搬	積込 2tDT運搬 現場～処分先	m3	9			第 24 号単価表参照
建設発生土処理費	1処理、流6を除く	m3	9			
計	1 式 当り					

第 6 号 単価表

ネット処分

防球ネット
処分費込

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬処分	4 t コンテナ車 ネット処分費含 180kg	回	1			
計	1 式 当り					

第 7 号 単価表

敷鉄板設置撤去工

1.5m×6.0m×40枚

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷鉄板設置・撤去		m2	360			第 25 号単価表参照
敷鉄板賃料		枚	40			第 26 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 8 号 単価表

整地工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
整地		m2	900			第 27 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 9 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 10 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)
往復分

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	2			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020
 J01 発注機関区分 = 1 関東・中部・近畿
 J04 製品長区分 = 1 12m以内
 J06 運搬割増率 (実数入力) = 0
 J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 10
 J05 運搬割増率 = 4 各種 (実数入力)
 J07 その他の諸料金の有無 = 2 無

第 11 号 単価表

仮設材等の積込み取卸し費

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み、取卸し費（仮設材等）		t	2			
計	1 t 当り					

SWB010030

J01 作業区分 = 4

積込み、取卸し（往復分）

第 12 号 単価表

H14.7(全面エコネット張り)端末柱構成

朝日スチール工業(株) S・P-H14.7-3同等品

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H14.7柱	上段φ267.4*6.0、中段φ318.5*6.0 下段φ318.5*10.0	本	1			
取付金具構成		本	1			第 28 号単価表参照
計	1 本 当り					

第 13 号 単価表

H14.7(全面エコネット張り)中間柱構成

朝日スチール工業(株) S・P-H14.7-3同等品

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H14.7柱	上段φ267.4*6.0、中段φ318.5*6.0 下段φ318.5*10.0	本	1			
取付金具構成		式	1			第 29 号単価表参照
計	1 本 当り					

第 14 号 単価表

H14.7(全面エコネット張り)横材構成

朝日スチール工業(株) S・P-H14.7-3同等品
 φ139.8*4.5 (10m用) 2本継ぎ

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横材 φ139.8×4.5 (10m用)	2本継	本	1			
計	1 本 当り					

第 15 号 単価表

支柱基礎工

φ 450×3600 18-8-20BB W/C60%以下
RC-40 t=100

1 基 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スパイラル鋼管	φ 450×3600×t0.6	本	1			
コンクリート	18-8-25(20)BB	m3	0.56			第 30 号単価表参照
基礎碎石	機械・労務・材料費を含む	m2	0.1			第 31 号単価表参照
計	1 基 当り					

第 16 号 単価表

H14.7(全面エコネット張り)ネット構成

14700×10000

1 スパン 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
エコネット365T/56本 40mm	14700×10000	枚	1			
メッセンジャーワイヤー	2.6 1×7	式	1			
カセンロープ4.0 (結束用)		式	1			
カセンロープ6.0 (中段用)		式	1			
計	1 スパン 当り					

第 17 号 単価表

H14.7(全面エコネット張り)ネット構成

14700-10000×3000

1 スパン 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
エコネット365T/56本 40mm	14700×3000	枚	1			
メッセンジャーワイヤー	2.6 1×7	式	1			
カセンロープ4.0 (結束用)		式	1			
カセンロープ6.0 (中段用)		式	1			
計	1 スパン 当り					

第 18 号 単価表

既設ネット、支柱撤去工

H=10m W=91m、H=5m W=29.5m、H=3m W=22.9m
 H10 φ 190×12、H5 φ 114.3×9、H3 φ 76.3×10

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防球ネット撤去工	ワイヤー含む	m ²	1,127			
既設コンクリート柱抜柱工	H10m φ 190	本	11			
既設コンクリート柱破碎工	H10m φ 190	本	11			
既設鋼管柱抜柱工	H=5m φ 114.3	本	9			
既設鋼管柱抜柱工	H=5m φ 76.3	本	10			
高所作業車	12m 特殊運転手、燃料、損料等含	台	8			
レッカー車	5t 特殊運転手、燃料、損料等含	台	4			
計	1 式 当り					

第 19 号 単価表

埋戻し

発生土利用

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回・超低騒音]	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.45m3	%	K1			
タンパ及びランマ	質量 60～80kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手(特殊)		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 19 号 単価表

埋戻し

発生土利用

1 m3 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m3 当り					

SCB210410

J01 施工方法 = 4

最大埋戻幅1m未満

第 20 号 単価表

支柱およびネット設置工

支柱15本、横材2スパン含
ネットH=14.7m (全面エコネット張り)

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
オーガ車	特殊運転手、燃料、損料等含	日				
高所作業車	12m 特殊運転手、燃料、損料等含	台	26			
レッカー車	5t 特殊運転手、燃料、損料等含	台	18			
計	1 式 当り					

第 21 号 単価表

有筋Co殻運搬

DT 2t

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J15 運搬距離 (km) (DID区間無) = 6 3.5km以下

J02 積込機種・規格 = 6
 J04 DID区間の有無 = 1

バックホウ山積0.13m3 (平積0.1m3)
 無し

第 22 号 単価表

収集運搬工

8.25 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人				
普通作業員		人				
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 4 t 級 吊能力 2.9 t	日				
軽油		L	33.32			(760/130)*5.7
計	8.25 t 当り					
	1 t 当り					

第 23 号 単価表

積込 (ルーズ)

BH0.28m3

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ (クローラ) [標準]	排ガス型 (第2次) 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210020

J01 土質 = 1

土砂

J02 作業内容 = 4

小規模 (標準)

第 24 号 単価表

土砂等運搬

積込 2tDT運搬 現場～処分先

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J16 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 15.0km以下

J02 積込機種・規格 = 6
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.13m3 (平積0.1m3)
 有り

第 25 号 単価表

敷鉄板設置・撤去

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
バックホウ（クローラ型）運 転		日				第 32 号単価表参照
諸雑費（率+まるめ）		式	1			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB253610

J01 作業区分 = 3

設置・撤去

第 26 号 単価表

敷鉄板賃料

1 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷鉄板賃料		枚・日	90			
整備費（敷鉄板）	25×1524×6096mm	枚	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1枚 当り					

SWB253630

J01 敷鉄板の種類 = 3 25×1,524×6,096 (mm)

J04 供用日数 (日) (実数入力) [日] = 90

J02 不足分弁償金の有無 = 1

J05 整備費の有無 = 2

無

有

第 27 号 単価表

整地

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型(第2次)]	ブレード幅 3.1 m	%	K1			
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型(第2次)]	運転質量 10 t 締固め幅 2.1 m	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 8～20 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 27 号 単価表

整地

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB410010

J01 補足材料の有無 = 1

無し

J04 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 28 号 単価表

取付金具構成

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自在バンド	3BD-HD-23	個	1			
自在バンド	3BD-HE-23	個	8			
自在バンド	3BD-HE-30	個	3			
袋ナットM12用		個	1			
袋ナットM16用		個	12			
袋ナットM20用		個	1			
大型角座金16用		個	6			
シンプルA-9S		個	8			
シンプルA-14S		個	1			
巻付けグリップ2.0 1×7 端用		本	2			
巻付けグリップ2.6 1×7 端用		本	7			

第 28 号 単価表

取付金具構成

1 本 当り

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
巻付けグリップ 3×7 G0/16 端用		本	1			
ターンバックル12 シンプル アイ オーフ		個	1			
ターンバックル16 両オーフ		個	6			
ターンバックル 1インチ 両 オーフ	ロックNT付	個	1			
メッセンジャーワイヤー 2.0 1×7		式	1			
カセンロープ4.0 (結束用)		式	1			
計	1本 当り					

第 29 号 単価表

取付金具構成

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自在バンド	4BD-HD-23	個	3			
自在バンド	4BD-HD-30	個	3			
吊架金具	WLH-1	個	6			
袋ナットM16用		個	10			
シンプルA-9S		個	4			
巻付けグリップ2.6 1×7 端用		本	4			
ターンバックル16 両オーフ		個	2			
計	1式 当り					

第 30 号 単価表

コンクリート

18-8-25(20)BB

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25(20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2
 J03 コンクリート規格 = 41
 J07 現場内小運搬の有無 = 2

小型構造物
 18-8-25 (高炉)
 無し

J02 打設工法 = 4
 J05 養生工の種類 = 2
 J13 費用の内訳 = 1

人力打設
 一般養生
 全ての費用

第 31 号 単価表

基礎砕石

機械・労務・材料費を含む

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 31 号 単価表

基礎碎石

機械・労務・材料費を含む

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m2 当り					

SCB221110
 J01 碎石の厚さ = 2
 J03 費用の内訳 = 1

7.5cmを超え12.5cm以下
 全ての費用

J02 碎石の種類 = 8

再生クラッシュラン 40~0

第 32 号 単価表

バックホウ（クローラ型）運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	119			
バックホウ（クローラ）[標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK250590

現場説明書

1. 工事名称 松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工事

2. 工事場所 松戸市常盤平七丁目25番地

3. 説明事項

(一般事項)

- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し承諾を得ること。
- ・ 関係官公庁への届出は、遅滞なく行うこと。
- ・ 工事に伴う断水、騒音、振動等が予想される場合は、学校側と協議し、支障のないよう工事を行うこと。
- ・ 工事中に使用する水道、電気等については学校側と協議して工事を行うこと。
- ・ 工事期間中、敷地内の樹木せん定・伐採を実施するため、「松戸市中学校樹木せん定・伐採業務委託（B地区）」の請負業者による作業が予定されている。既存の防球ネットに樹木が絡んでいる箇所があるため協力して行うこと。
- ・ 交通誘導員は仮設材及び材料搬入時等に適宜配置し、生徒、職員、施設利用者等の安全や通行の妨げにならないよう努めること。
- ・ 生徒、職員、施設利用者等の安全に配慮した仮設計画を策定し、工事を行うこと。

(週休2日制適用工事)

- ・ 本工事は、週休2日制適用工事である。
- ・ 受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休2日（4週8休以上）達成相当の経費を補正している。
- ・ 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休2日制適用工事实施要領」に基づき行うこと。

(熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事)

- ・ 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。
- ・ 受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。
- ・ 工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

仕様書

松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工事

一般事項

1-1 適用

本仕様書は、松戸市が発注する「松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工事」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書に定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

1-2 目的

本工事の目的は、既設防球ネットを撤去し、嵩の高い防球ネットを設置し、隣接住居への飛球を防ぐことを目的としている。請負者は、その主旨をよく理解した上で施工にあたらなければならない。

1-3 施工計画書

1. 請負者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

請負者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たらなければならない。この場合、請負者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。なお、計画においては、請負者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する工事目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画するものとし、設計内容を熟知した上で、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。

- (1) 工事概要
 - (2) 計画工程表
 - (3) 現場組織表
 - (4) 指定機械
 - (5) 主要機械
 - (6) 主要資材
 - (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
 - (8) 施工管理計画
 - (9) 安全管理
 - (10) 緊急時の体制及び対応
 - (11) 交通管理
 - (12) 環境対策
 - (13) 現場作業環境の整備
 - (14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
 - (15) その他
2. 請負者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。
 3. 請負者は、施工計画書を提出した際、監督職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。
 4. 本工事の仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、請負者において任意に計画できるものとし、その詳細については施工計画書に明示しなければならない。

1-4 使用材料

請負者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な主要な使用材料について監督職員に提出しなければならない。

1-5 施工管理

施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事共通仕様書・施工管理基準に基づき行うものとする。なお完成時に提出する写真帳は、A4判の印刷物2部、PDF形式等の電子データを記憶媒体に記録したもの1部とする。

1-6 工事着手前の確認

1. 請負者は、工事着手前に現地を十分に踏査及び測量を行い、設計図書と現地が一致しているかを十分に確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。
2. 請負者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。
3. 請負者は、工事の施工に当たり、損傷の受ける恐れのある境界杭または障害となる杭の設置換え、移設及び復元を含めて適切な措置を講じなければならない。
4. 既設の埋設物については、施工者においても十分調査し、要所においては必要により試験掘りを行い、企業者の立ち会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。

1-7 その他

1. 施工管理に関しては、十分に工程を管理し定期的にフィードバックするとともに、月間工程報告書を提出しなければならない。
2. 請負者は、工事期間中のほとんどが教育活動中であることから学校関係者と密に連携をとり、工事を進めていくこと。
3. 交通誘導員の配置については、監督職員と協議すること。
4. 本工事に伴う隣接障害物の移設・復旧等については、土地所有者及び土地占有者と協議すること。
5. 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。
6. 現場は常に整理整頓に心掛け、施工中は勿論、施工していないときにも危険のないようにしておかなければならない。
7. 工事期間中、既設水道を使用することができるが、開栓、使用者の変更、使用料の支払い及び工事完了後の閉栓等の一連の手続きを請負者が責任をもって行うこと。
8. 基礎部の仕上がりは、完了後に滞水が起きないように適切な水勾配（概ね5%程度）を設けること。
9. Co構造物の使用セメントは高炉セメント（設計強度18N/mm²、スランプ8cm）、基礎砕石は再生クラッシャーランRC40-0とする。
10. 本仕様書に定めのない事項については、監督職員と協議し、指示を仰ぐこと。

環境対策について

1. 請負者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和62年3月30日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。
2. 請負者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示があればそれに従わなければならない。また、第三者からの環境問題に関する申出に対しては、誠意をもってその対応にあたり、その交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を随時監督職員に報告し、指示があればそれに従うものとする。
3. 工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用し、第三者に不快感を与えないよう努めること。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、請負者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。

交通安全管理について

1. 本工事は昼間作業を原則とする。施工中の交通整理員は、1日1名以内の配置を原則とするが、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。
2. 交通規制は、周辺工事との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通（通行人を含む）等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。
3. 施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。
4. 本工事で使用する建設機械や資材等は、原則夜間・休日に道路上に放置してはならない。なお、その保管方法については施工計画書に明示しなければならない。

その他

（週休2日制適用工事）

1. 本工事は、週休2日制適用工事である。
2. 受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休2日（4週8休以上）達成相当の経費を補正している。
3. 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休2日制適用工事实施要領」に基づき行うこと。

（熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事）

1. 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。
2. 受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。
3. 工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

特記仕様書及び施工条件の明示

工事名称 松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工事
 工事箇所 松戸市常盤平七丁目25番地
 工事概要 松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工・・・一式

工事請負契約書、千葉県土木工事共通仕様書及び関係法令等を遵守する事。

明示項目	明示事項
工事関係	<p>工事着手前に周辺住民及び地権者等との調整をはかり、全ての作業を工期内に完了しなければならない。</p> <p>また、原則として日祝祭日は作業を休止する事。</p> <p>昼間の作業時間は8：30～17：00までとする。</p> <p>ただし道路上の作業時間は所轄警察の道路使用許可証に従うこと。</p>
用地関係	特になし
公害対策関係	<p>現場周辺は常に清掃に努めること。また、騒音及び振動対策についても極力、低減するよう努めること。</p> <p>(低音型機械等使用・クラクション音の制限)</p> <p>現場の状況により、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土を使用する場合には、配合設計の段階、及び施工後に六価クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定される溶出試験を行い、あらかじめ土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。</p>
安全対策関係	<p>安全管理及び安全教育の徹底をはかり現場内の安全に努める。</p> <p>荒天時及び荒天が予測される時は作業を中止し、現場周辺の安全を確保する事。</p> <p>交通整理員の配置については、交通に支障をきたさぬよう適正に配置する事。</p> <p>特に重機等による作業事故を未然に防ぐよう十分な対策をとること。</p>
工所用道路関係	特になし
仮設備関係	施工方法等を考慮の上、請負者の責務とする。
残土・産業廃棄物関係	<p>法令に従い適切に処分し、関係書類を提出すること。</p> <p>ただし、Asガラ及びコンクリートガラ等は、再利用を図るため、再生プラント施設へ搬出すること。</p>
工事支障物件等	<p>特に地下埋設等の占用物については事前に調査しておくこと。</p> <p>また、調査に係る費用は請負者の負担とする。なお、近接作業のおそれがある場合は、必ず、占有者の立会いのもと施工すること。</p> <p>マンホール等の高さ調整がある場合は、速やかに報告すること。</p>

施工体制	一括下請と疑われる契約、及び不必要な重層下請契約は行わないこと。
境界杭等	道路境界（官杭(プレート)、及び民杭(プレート)）は、請負者の責任において確認し、工事完了後に復元するものとする。 特に民民の境界については、必ず杭の有無に係わらず写真を撮り住民立会いのもと復元すること。 都市計画基準点及び街区基準点が設置されている、若しくは発見した場合は、監督職員に報告するとともに、管理者の指示に従い、適切な措置をとること。
街区基準点の維持管理	工事施工区間内に街区基準点等確認された場合、建設総務課との協議を実施し、必要な申請書類を提出すること。
再生資源の利用	原則として、舗装材等については、再生材を利用すること。 As ガラ等は、再生資源として処理プラント等に搬出するので、仮置場等で他現場の発生材と混じらないよう管理すること。
施工管理に関する特記事項 (防球ネット)	防球ネット高は、GLから15.0m未満となるように施工しなければならない。 計画した高さは、監督職員の承認を得ることとし、請負者はその高さに基づき管理しなければならない。
施工管理に関する特記事項 (原形復旧)	請負者は、施工に際し施工現場周辺、及び他の構造物並びに施設(民地内)などへ影響を及ぼさないように施工しなければならない。 周辺施設への影響が予想される場合には直ちに監督職員へ通知し、その対応方法等に関して協議し決定するものとする。また損傷が請負者の過失によるものと認められる場合、請負者自らの負担で復旧しなければならない。
完了確認検査 (事前検査)	請負者は、日常管理の段階確認、立会い確認とは別に、工事監督職員等による完了確認検査を受検しなければならない。 完了確認検査は、しゅん工届提出前に、工事完了した時点で速やかに受検すること。
その他	地元住民等の要望等を受けた時及び疑義等がある時は、随時協議すること。 工事内容及び施工範囲の詳細については、監督職員と現場立会い等を実施した上で、確認すること。また、起終点の立会いに関しては立会い写真を撮り、しゅん工図書に収めること。

建設副産物に関する特記仕様書

1. 共通事項

- 元請業者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、協力業者もこれを周知徹底すること。
- 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。
- 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。
なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。
- 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し、確認を受けること。
- 建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの（受渡確認表等）を提出すること。
- 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土が発生する場合は、柏市岩井296-1番地先、片道運搬距離11.4 kmの㈱エスブロックに搬出するものとする。

建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。

4. 路盤廃材

~~本工事により発生する路盤材(45m³)は、柏市風早1-5-1地先、片道運搬距離13.3kmの東京石油興業㈱に運搬し、処理するものとする。~~

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

~~1) アスファルト塊(34m³)は、柏市風早1-5-1地先、~~

~~片道運搬距離13.3kmの東京石油興業㈱に運搬し、処理するものとする。~~

~~2) コンクリート塊(9m³)は、松戸市松飛台286-17地先、~~

~~片道運搬距離3.3kmの石建商事㈱に運搬し、処理するものとする。~~

~~3) 建設発生木材()m³)は、市町地先、~~

~~片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。~~

~~4) 建設汚泥(0.4m³)は、八千代市吉橋字内野1075-9地先、~~

~~片道運搬距離20.3kmの千葉丸辰道路㈱に運搬し、処理するものとする。~~

~~5) 建設混合廃棄物()m³)は、市町地先、~~

~~片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。~~

なお、運搬に先立ち受入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。
工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
片道運搬距離は積算上代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。

又、元請業者は、次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- ① 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- ② 運搬経路の適切な設定及び車両並びに積載量等の適切な管理により騒音、振動、塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- ③ 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打合せを行い、環境保全に留意すること。
- ④ 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

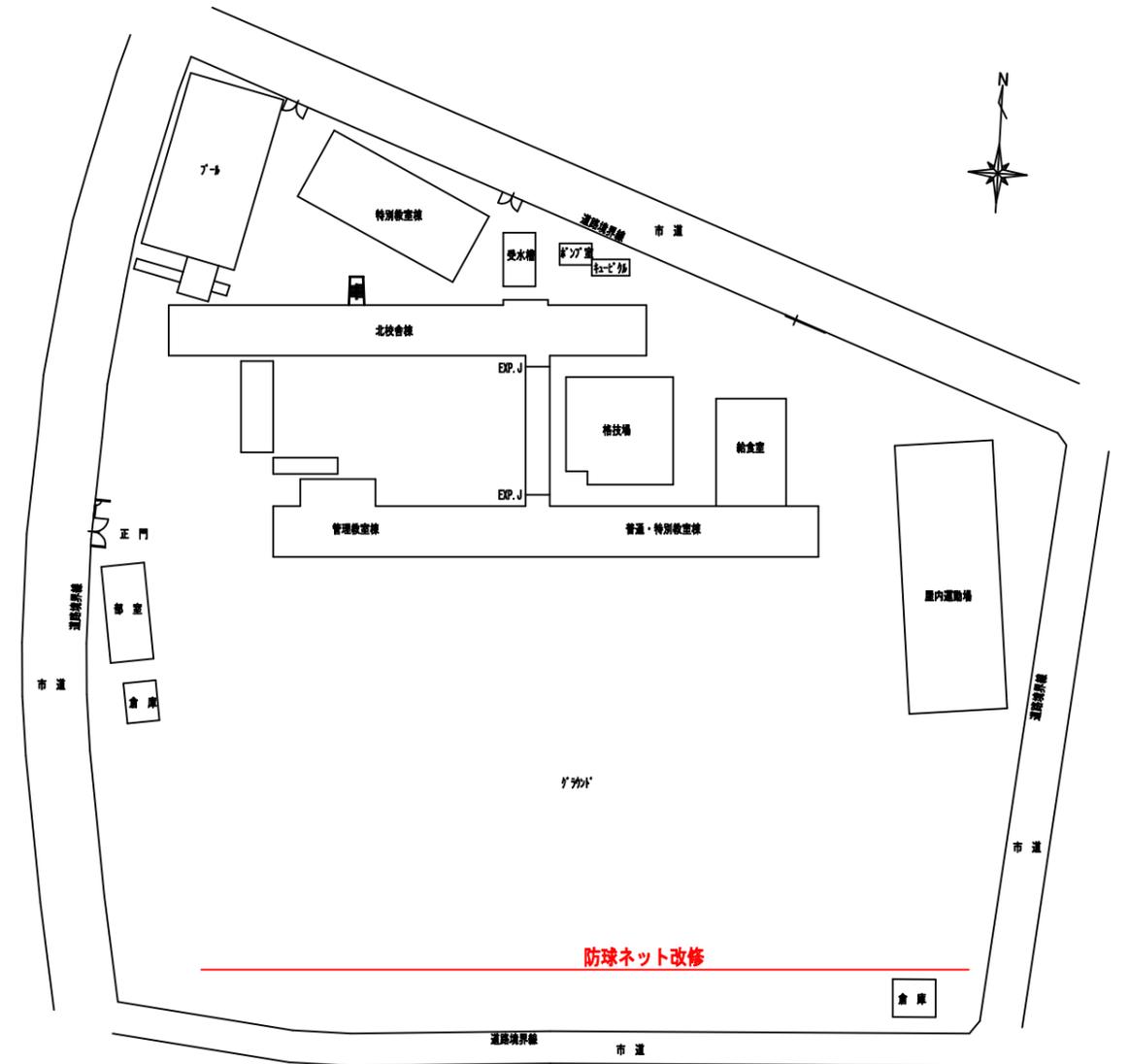
案内図 常盤平中学校



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。

工事場所：松戸市常盤平七丁目25番地（松戸市立常盤平中学校）

案内図



配置図 S=1/500

— 防球ネット改修

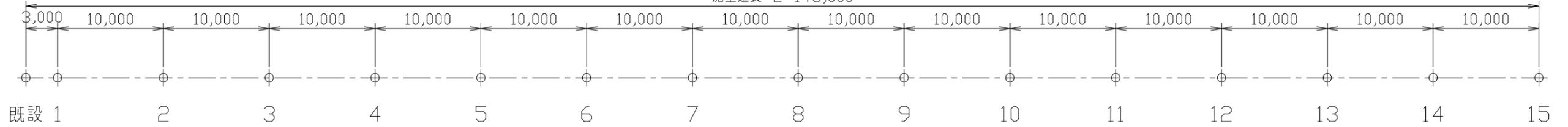
工事名	松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工事		
図面名称	案内図		
縮尺	図示	図面名称	1 / 2
事業主	松戸市教育委員会 学校施設課		

防球ネット割付図

常盤平中学校

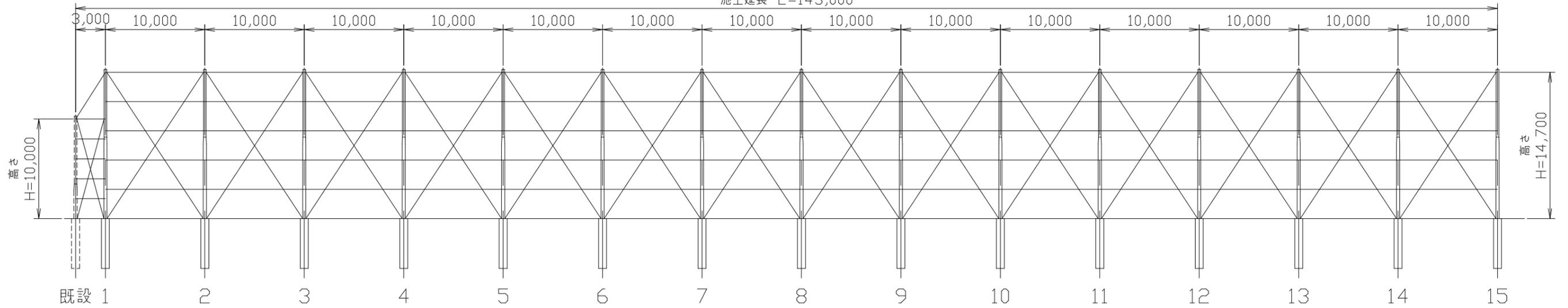
平面図 S=1:400

施工延長 L=143,000



正面図 S=1:400

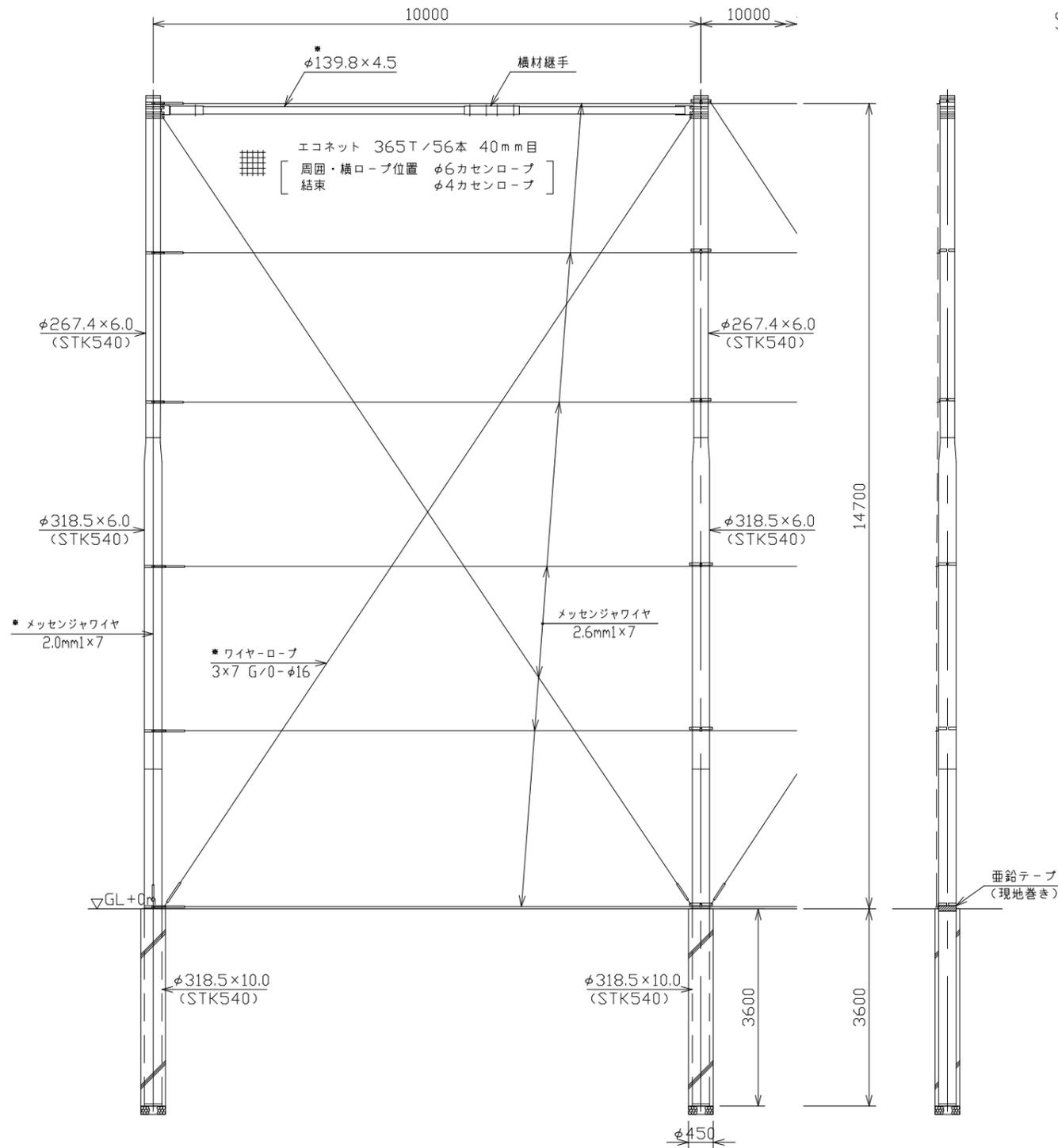
施工延長 L=143,000



工事名	松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工事		
図面名称	防球ネット割付図		
縮尺	図示	図面名称	2 / 2
事業主	松戸市教育委員会 学校施設課	図面名称	2 / 2

(参考図) 防球ネット構造図

常盤平中学校



S P 防球フェンス H14,7-3型 (全面エコネット張り) 同等品 S=1:100

建築基準法・同施行令 (平成12年6月) に基づく風圧力に依る
 基準風速 34m/sec 地表面粗度区分 III GL+0m

設計条件
 設計荷重・・・建築基準法・同施行令 (平成12年6月) に基づく風圧力に依る。
 基準風速・・・34m/sec
 地表面粗度区分・・・III
 基礎条件・・・配電規程 (JEA C7001)
 土質係数・普通土質 (B) に依る。

備考
 1. 外装はエコネット類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
 2. エコネットは縦ロープ及び横ロープとφ4カセンロープにて巻付処理とする。
 3. *印部材は端末、コーナーに本図の如く設けること。

(参考図)

工事名	松戸市立常盤平中学校防球ネット改修工事		
図面名称	(参考図) 防球ネット構造図		
縮尺	図示	図面名称	- / -
事業主	松戸市教育委員会 学校施設課	図面名称	- / -